



日ASEAN関係: ASEANにおける対日世論調査

報告日: 2016年11月25日

提出先: 外務省

本プロジェクトはISO20252に準拠して実施。

© 2016 Ipsos. All rights reserved. Contains Ipsos' Confidential and Proprietary information and may not be disclosed or reproduced without the prior written consent of Ipsos.

Ipsos Marketing
The Innovation and Brand Research Specialists



A

調査の背景、目的、方法

B

要旨

C

主な調査結果

A

調査の背景、目的、方法

B

要旨

C

主な調査結果

調査の背景と目的

- 本プロジェクトは、外務省により、ASEAN10か国における日本に対する世論を調べるために隔年毎に実施される調査。
- 本調査の主な目的は、ASEAN諸国の人々が日本に対して持っている印象を特に次の点で調べること。
 - 日本に対する印象と認識
 - 日本に対する関心
 - 国際関係における日本
 - 日ASEAN関係及び協力
 - ASEANに関係する日本の政策に対する認識

調査設計(1/2)



方法

オンライン自己記入調査。オンライン、および面談を通して回答者を募集。



回答者

一般人
年齢18～59歳
男性／女性
各国の首都／主要都市の国民・永住者



サンプルサイズ(標本数)と範囲

合計= 3,055
(ASEAN加盟10か国の合計)



調査期間

2015年12月1日～24日



サンプリング方法

割当てを設定したランダムサンプリング



回答所要時間

自己記入で平均所要時間15分

調査設計(2/2)

No.	国	都市	調査方法	質問票の言語 (オプション)	国別サンプル サイズ
1	ブルネイ	バンダルスリブガワン、ジュルドン	対面採用&オンライン (約80%:20%)	英語、マレー語	301
2	カンボジア	プノンペン	対面採用&オンライン (約50%:50%)	英語、クメール語	301
3	インドネシア	ジャカルタ	オンライン	英語、インドネシア語	305
4	ラオス	ビエンチャン、ターケーク	対面採用&オンライン (約80%:20%)	英語、ラオス語	300
5	マレーシア	クアラルンプール	オンライン	英語、マレー語、中国語	301
6	ミャンマー	ネーピードー、ヤンゴン	オンライン	英語、ビルマ語	313
7	フィリピン	マニラ	オンライン	英語	305
8	シンガポール	シンガポール	オンライン	英語	306
9	タイ	バンコク	オンライン	英語、タイ語	315
10	ベトナム	ハノイ、ホーチミン	オンライン	英語、ベトナム語	308

割当て

- 母集団を一般集団とするために、回答者属性に基づき割当てを設定した。

性別	ブルネイ	カンボジア	ラオス	インドネシア	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
男性	51%	49%	50%	50%	48%	48%	50%	49%	49%	49%
女性	49%	51%	50%	50%	52%	52%	50%	51%	51%	51%
年齢	ブルネイ	カンボジア	ラオス	インドネシア	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
18～29	35%	45%	44%	36%	41%	37%	39%	26%	28%	36%
30～39	29%	24%	25%	28%	24%	27%	26%	24%	26%	27%
40～49	21%	19%	18%	22%	20%	21%	20%	25%	26%	21%
50～59	15%	12%	13%	14%	15%	15%	15%	25%	20%	16%
雇用	ブルネイ	カンボジア	ラオス	インドネシア	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
非就労 (主婦、学生、等)	30%以下	40%以下	40%以下	40%以下	30%以下	40%以下	40%以下	30%以下	30%以下	40%以下
民族	ブルネイ	カンボジア	ラオス	インドネシア	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
マレー系	76%	なし	なし	なし	67%	なし	なし	14%	なし	なし
華人系	17%				25%			77%		
インド系	なし				8%			9%		
先住民族系	7%				なし			なし		

- 性別、年齢の割当ての出典: World Statistics Pocketbook, Series V, No. 38. The United Nation. 2014; The World Factbook. Central Intelligence Agency. 2014

重み付け

- ・ インターネットの普及率が低い国(ブルネイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー)には重み付けをした。
- ・ 年齢 x 性別は人口構成に基づき調整した。

性別		ブルネイ	カンボジア	ラオス	ミャンマー
男性	回収サンプル数 (n=)	249	231	229	258
	重み付けサンプル数 (n=)	154	148	150	150
女性	回収サンプル数 (n=)	52	70	71	55
	重み付けサンプル数 (n=)	147	153	150	163
年齢		ブルネイ	カンボジア	ラオス	ミャンマー
18～29歳	回収サンプル数 (n=)	48	146	66	226
	重み付けサンプル数 (n=)	105	136	132	116
30～39歳	回収サンプル数 (n=)	200	128	162	57
	重み付けサンプル数 (n=)	87	72	75	84
40～49歳	回収サンプル数 (n=)	51	25	67	25
	重み付けサンプル数 (n=)	107	85	85	96
50～59歳	回収サンプル数 (n=)	2	2	5	5
	重み付けサンプル数 (n=)	2	8	8	17

A

調査の背景、目的、方法

B

要旨

C

主な調査結果

要旨(1／4)

全般的に、ASEANは、日本とASEANの関係は良好であると認識しており、日本と日本の政策に対し好意的な姿勢をとっている。

1

ASEANは
日本と日本の文化的
側面に強い関心を
持っている。

2

日本は
ASEANにとって、
重要性を持つ
戦略的パートナーと
みられている。

3

ASEANと日本との
地域的協力は有益である
と認識されており、
日本からの更なる援助が
期待されている。

1

ASEANは日本と日本の文化的側面に強い関心を持っている。

- ASEANは、日本を、伝統を保つ現代的国家だと認識している。
- 日本に対する3つの最大関心事項は、技術、文化、景観である。
- ASEANは日本への旅行を望んでおり、これが日本語学習の主な動機となっている。また、日本語学習は将来の教育、キャリア、ビジネスに有益であるとも考えられている。
- 日本の食文化はASEAN地域全体でよく知られ、好まれている。その他に人気の文化は、アニメとマンガ、ドラマ、茶道である。

2

日本はASEANにとって重要で戦略的なパートナーであると認識されている。

- ASEANは、日本との良好な二国間関係を評価している。
- 日本は、ASEANにとって信頼できる重要な友好国であると認識されている。ASEANは、将来においても日本とのパートナーシップを期待している。
- ASEANは、日本を、自国にとって信頼できる友好国の1位(インドネシア、ベトナム)または2位(マレーシア、フィリピン、タイ、ミャンマー、ブルネイ、ラオス、カンボジア)に位置づけている。
- 日本は世界経済への貢献を理由に、重要で戦略的なパートナーだと評価されている。他方、アメリカは安全保障のサポートにより評価され、中国は経済と、自国との友好関係を持つとみなされることで信頼できるとされている。

3

ASEANと日本との地域協力は有益であるとみられており、日本からの更なる援助が期待されている。

- 日本はASEAN地域の有益な貢献者とみられている。
- 最も評価されているのは経済的パートナーシップ、教育、人材交流である。
- 全般的に、インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシア、タイの国民は、自国と日本との関係について、かなり好意的である。
- ミャンマー、シンガポール、カンボジア、ラオス、ブルネイでも日本の協力を好意的な姿勢がみられる。日本からの様々な協力に対する国民の認識レベルを改善する余地がある。

A

調査の背景、目的、方法

B

要旨

C

主な調査結果

C

主な調査結果

1. 日本に対する印象
2. 日本についてもっと知りたい分野
3. 日本の外交政策と国際社会での役割に対する見方
4. 日ASEAN関係とASEANで期待される日本の役割
5. 回答者属性に関する情報



1. 日本に対する印象

Ipsos Marketing



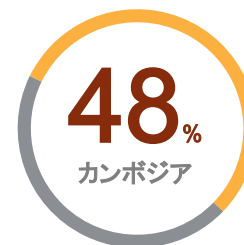
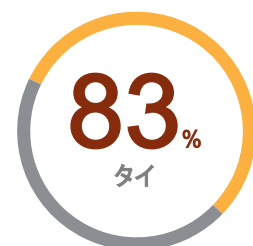
友好国としての日本への信頼度

割合(%)データ

ASEAN全加盟国合計で、大多数の人々が日本を信頼できる友好国であるとみなしていた。

上位2項目合計:

大変信頼できる; やや信頼できる



日本に対する信頼度-国別データ

割合(%)データ

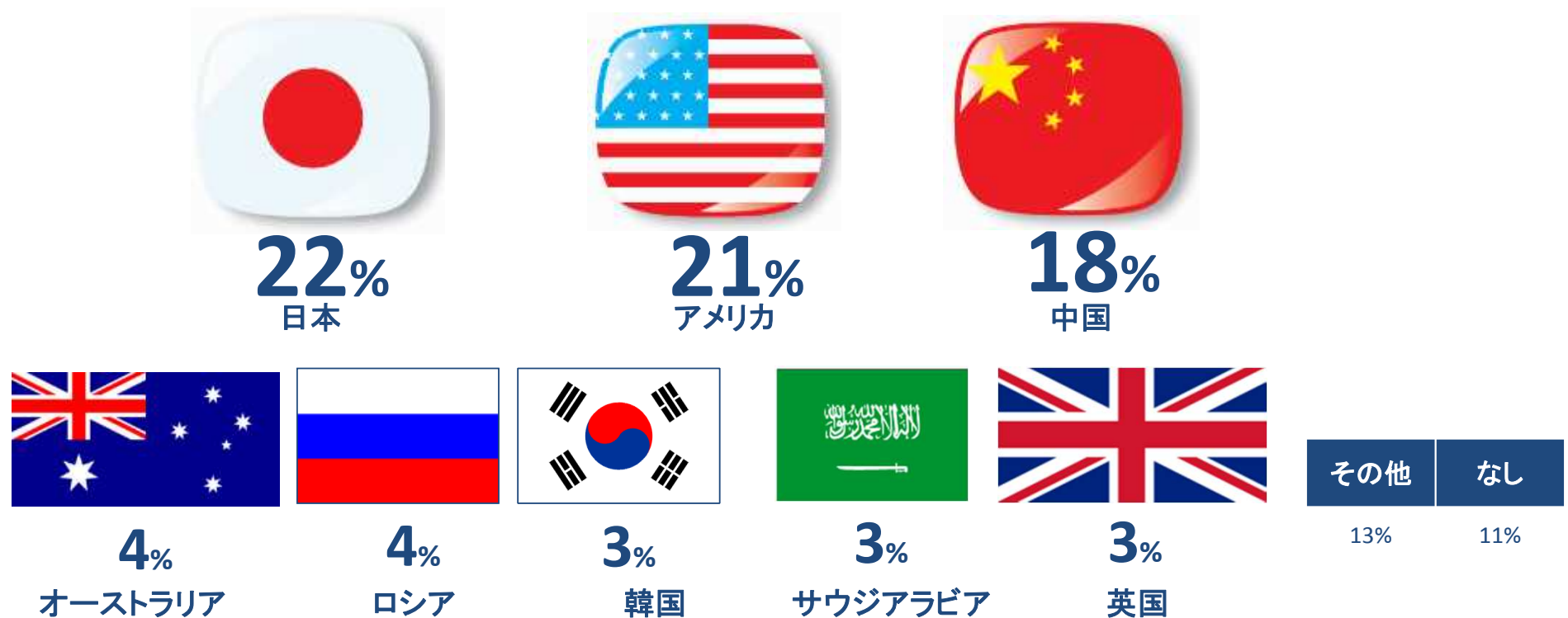
インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシア、タイで、日本を友邦として最も信頼しているという結果が得られた。これらの国では、10人中8人が、日本は自国にとって信頼できる友邦であると回答した。



最も信頼できる国

割合(%)データ

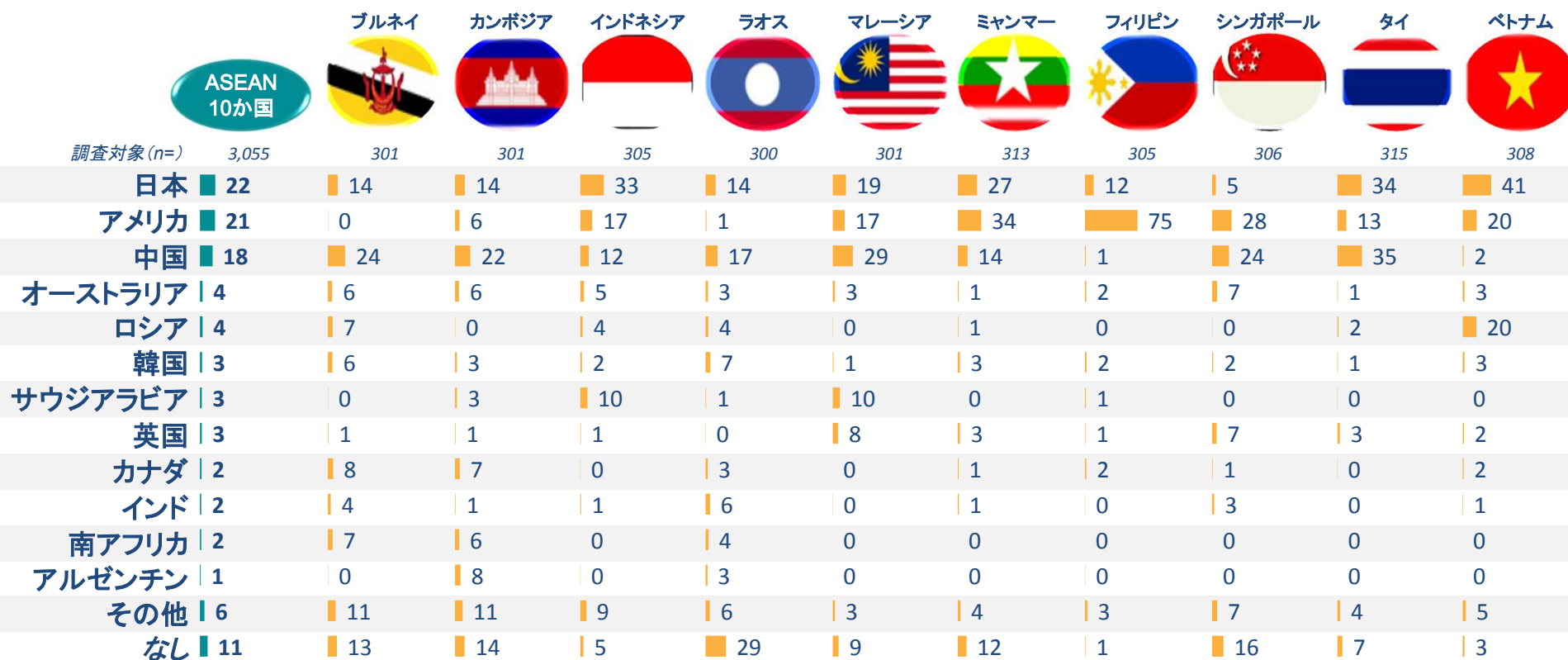
他国に比べて、日本はかなり信頼できる国であると評価された。



最も信頼できる国－国別データ

割合(%)データ

ASEAN(シンガポールを除く)は、日本を自国にとって1番目もしくは2番目に信頼できる国だと評価した。シンガポールにおいては、日本の順位は5位となった(1位から順にアメリカ、中国、オーストラリア、イギリス)。



最も信頼できる国に選んだ理由

割合(%)データ

日本は、回答者の自国の経済に与える影響を理由に、信頼できる国に選ばれた。一方、アメリカは安全保障への貢献が評価された。また、中国は経済と友好関係によって信頼できるとみなされた。



日本
(n=659)

経済的結びつき (日本の投資, 良好な貿易関係)	61
世界経済の安定と発展への貢献	51
友好関係, 価値を共有する関係	51
国際社会における開発協力	48
地球規模の課題解決(環境, 気候変動, 感染症, 人口, 貧困など)への貢献	43



アメリカ
(n=646)

安全保障(平和構築, テロ対策, PKO, 海賊対策)への貢献	54
国際秩序(法の支配, 自由民主主義, 自由貿易体制)の安定への貢献	53
経済的結びつき (米国の投資, 良好な貿易関係)	52
世界経済の安定と発展への貢献	52
友好関係, 価値を共有する関係	42



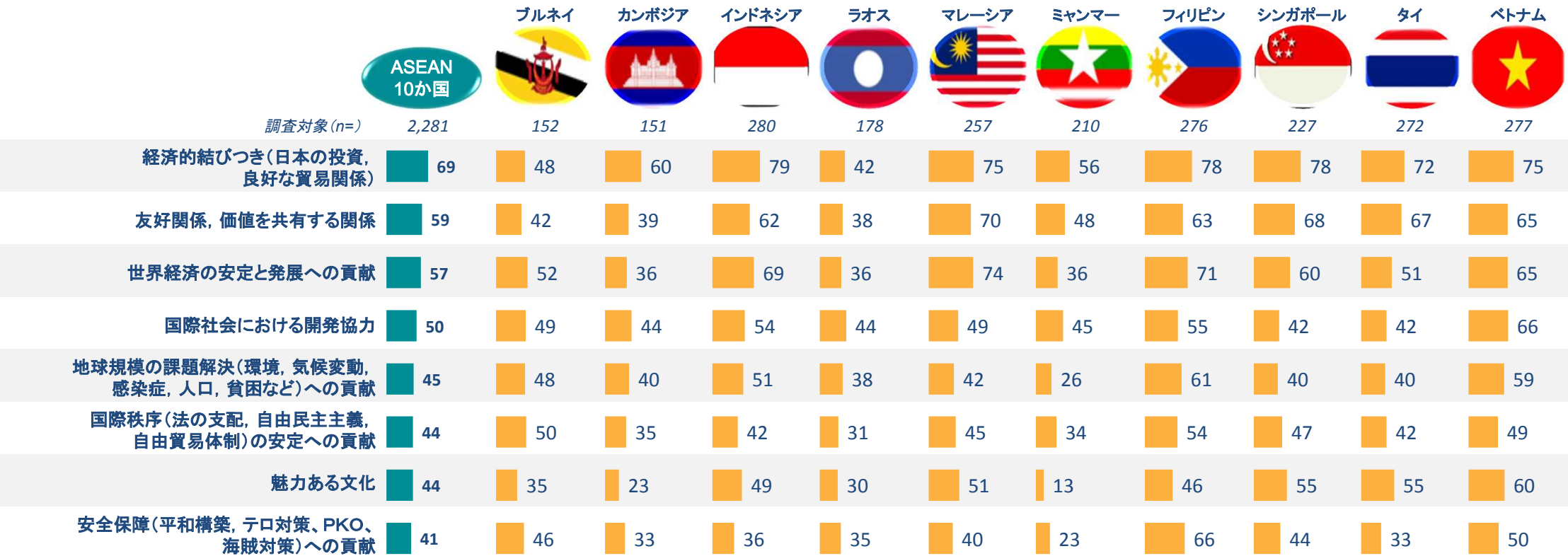
中国
(n=550)

経済的結びつき (中国の投資, 良好な貿易関係)	62
友好関係, 価値を共有する関係	51
世界経済の安定と発展への貢献	44
国際社会における開発協力	34
国際秩序(法の支配, 自由民主主義, 自由貿易体制)の安定への貢献	27



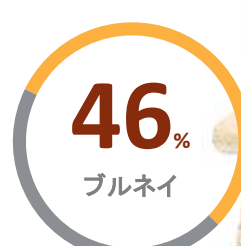
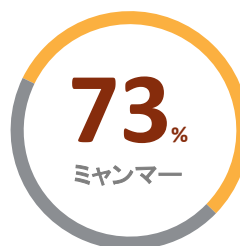
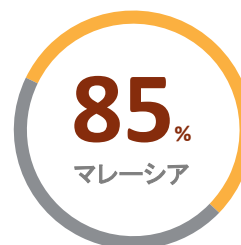
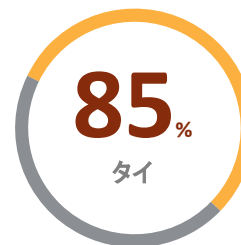
日本を信頼できる国とする理由

経済的貢献以外に、日本を信頼できる国とする理由はいくつかあった。マレーシア、シンガポールおよびタイの国民は、日本は共通の価値観を持つ国だとし、フィリピン国民は、日本の安全保障への貢献を評価した。ベトナム国民は、日本のODA貢献を信頼の理由に挙げた。



全般的に、ASEANは、自分の国が日本と良好な関係を持っていると認識している。

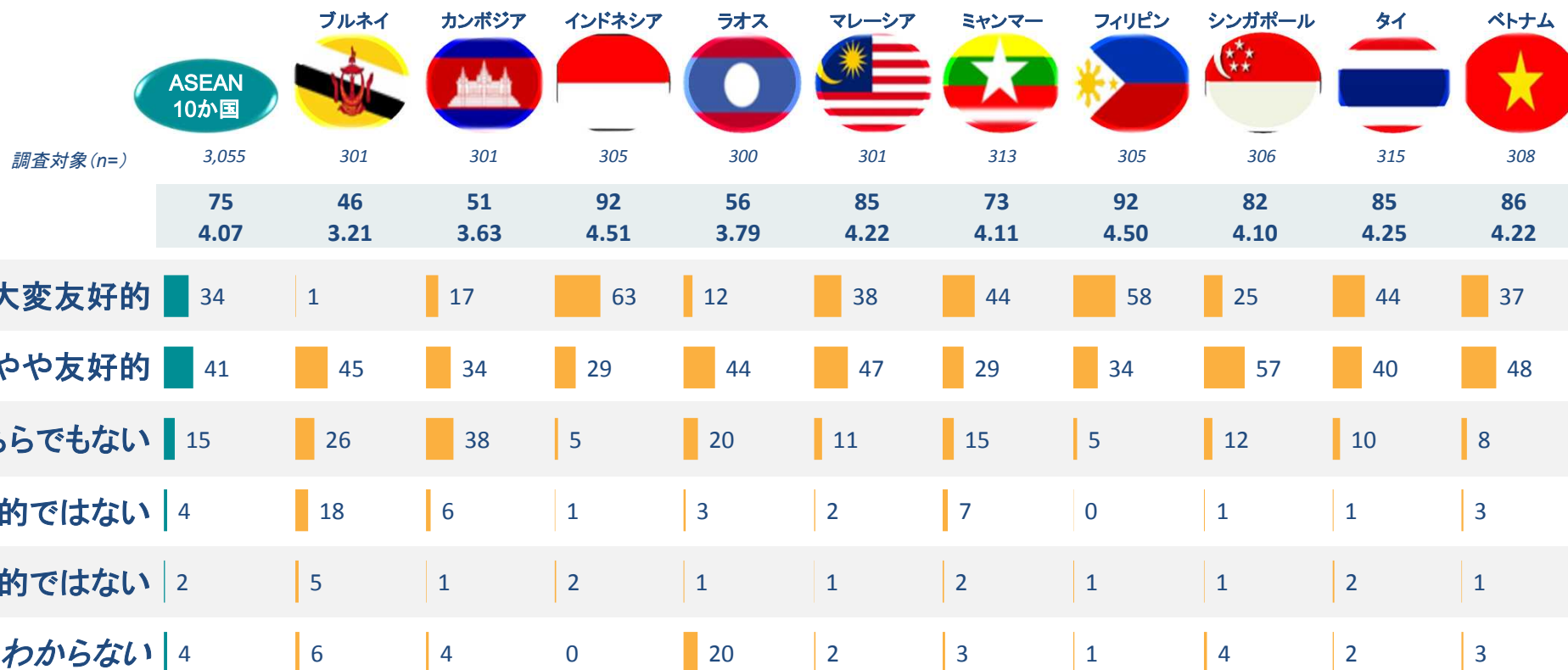
上位2項目合計:
大変友好的; やや友好的



自国と日本との関係-国別データ

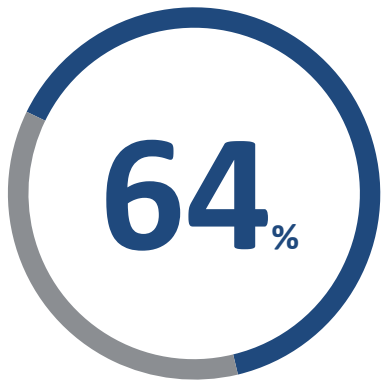
割合(%)データ

ASEANは、自国と日本とは肯定的で強い関係を持っていると認識。特にインドネシアとフィリピンでは、90%を超える回答者が日本と友好的な関係にあると認識していた。しかし、ラオスにおいては対日広報を改善する余地が残されている。



ASEANは、日本を、経済力、技術力の高い先進国という側面と、豊かな文化と美しい景観を持つ伝統ある国という側面の2つの異なる側面でとらえていた。

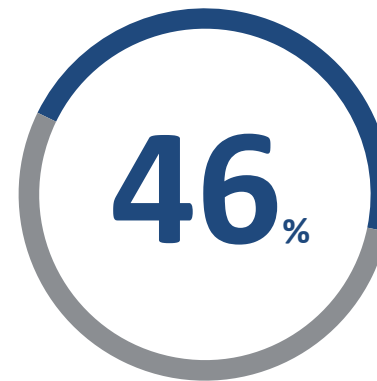
日本の印象



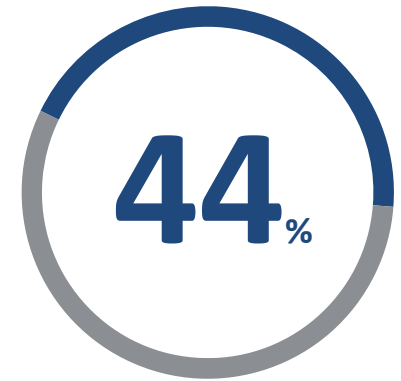
高い経済力と進んだ技術力



豊かな伝統と文化



高い生活水準



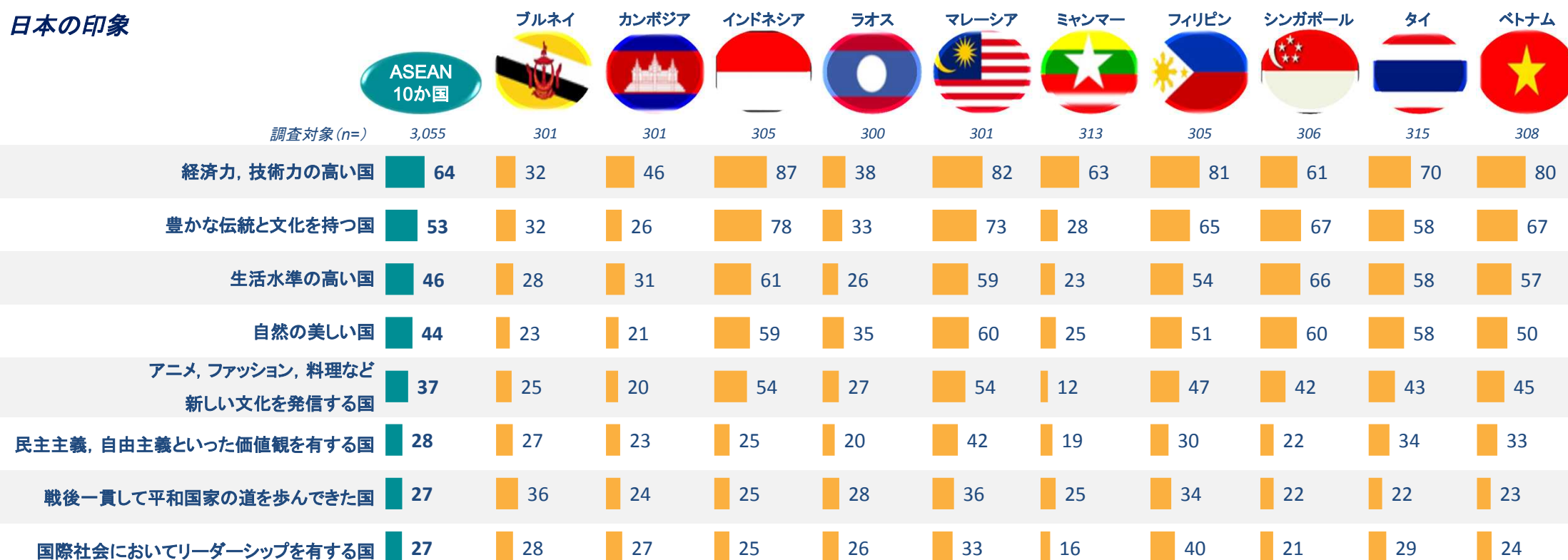
美しい自然

日本に対する印象-国別データ

割合(%)データ

回答率上位の項目はASEAN全加盟国で共通していた。

日本の印象



2. 日本についてもっと知りたい分野

日本についてもっと知りたい分野

割合(%)データ

全般的に、ASEANの大多数が日本に強い関心を持っていた。10か国中8か国で、80%を超える回答者が、日本のことをもっと知りたいと考えていた。

日本をもっと知りたいという関心

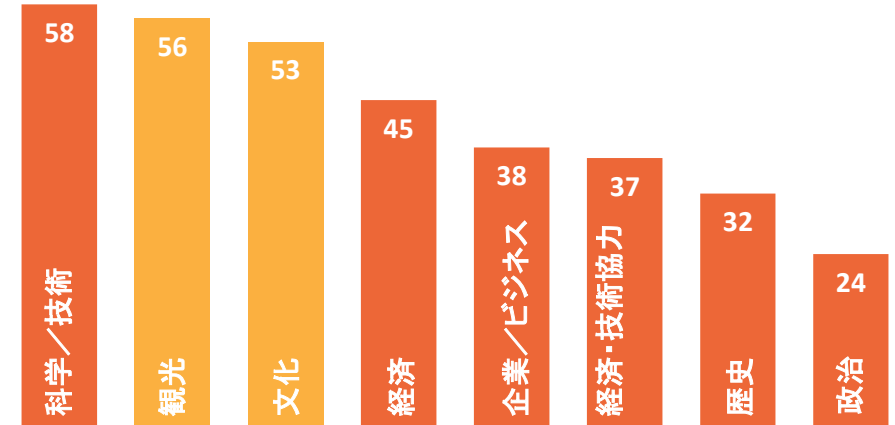
調査対象: 全回答者 N = 3,055



調査対象 (n=)	日本に関心がある
ASEAN10か国 3,055	86
インドネシア 305	97
タイ 315	97
ベトナム 308	96
マレーシア 301	95
フィリピン 305	94
シンガポール 306	90
ミャンマー 313	86
カンボジア 301	81
ブルネイ 301	67
ラオス 300	62

日本に関して興味のある分野

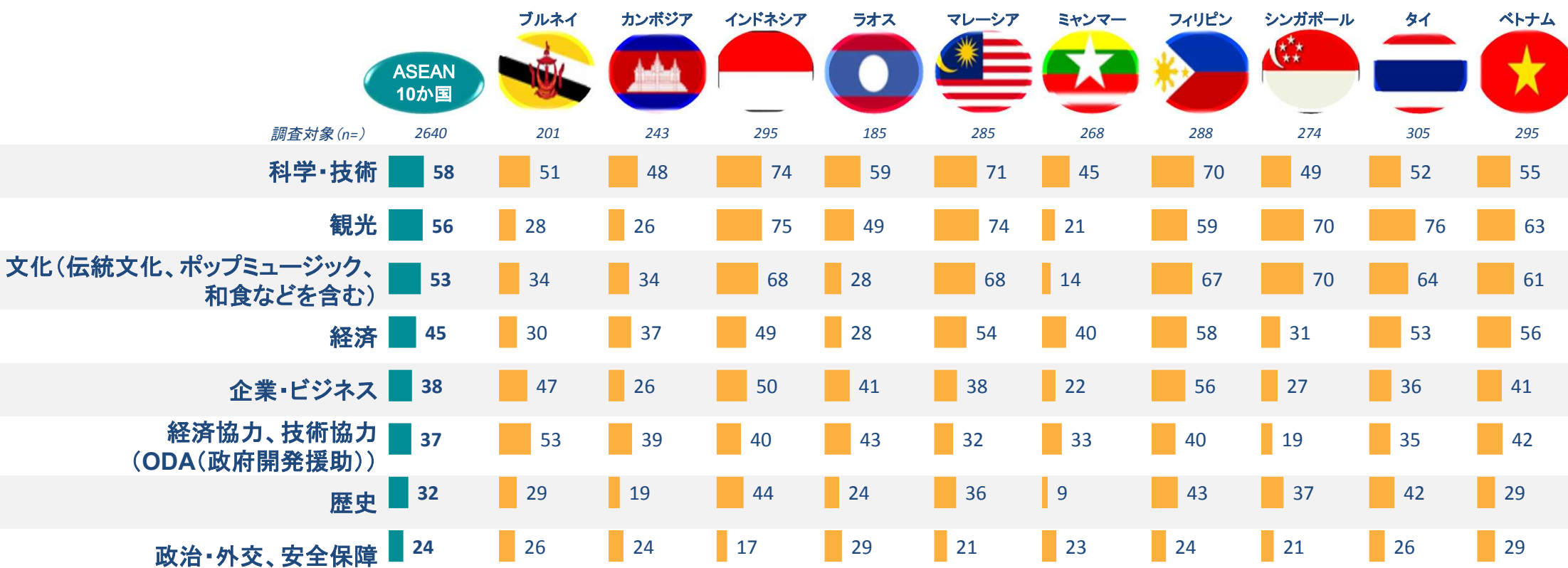
調査対象: 日本に関心のある回答者 N = 2,640



日本について関心のある分野(全体)–国別データ

割合(%)データ

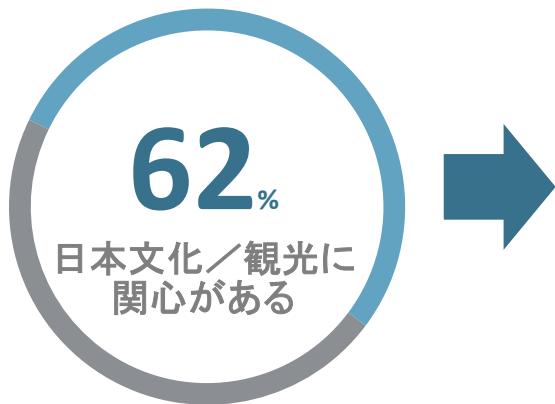
科学／技術、観光、文化が主に関心のある分野であった。ブルネイの人々は、日・ブルネイ間の経済・技術協力に最も関心を示した。



文化的側面における関心の詳細を調べると、日本の食文化がかなり好まれていた。また、ASEANは日本人のライフスタイルと考え方にも魅力を感じていた。

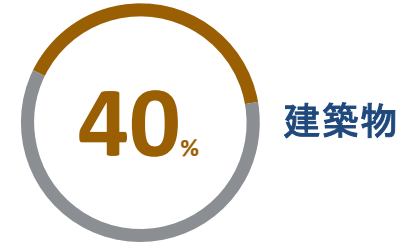
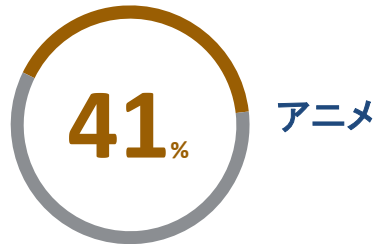
日本文化／観光への関心

調査対象: 全回答者 N = 3,055



興味の対象

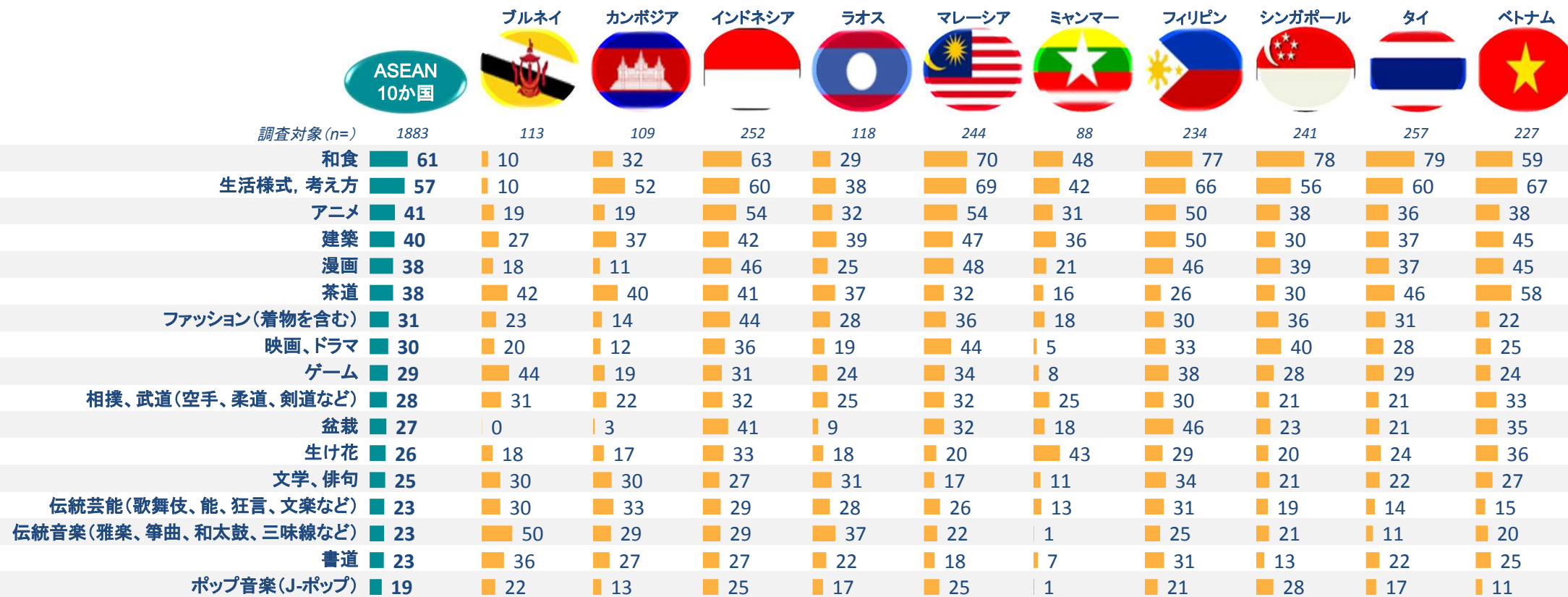
調査対象: 日本の文化／観光に関心のある回答者 N = 1,883



日本文化で関心のある分野-国別データ

割合(%)データ

共通の関心分野の他、いくつかの国では特定の分野に高い関心がみられた。フィリピンでは盆栽、マレーシアでは日本のドラマ、ミャンマーでは生け花、ブルネイでは伝統音楽、テレビゲーム、書道に高い関心が示された。



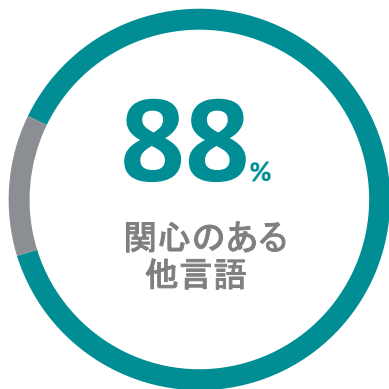
日本語、その他言語に対する習得の関心

割合(%)データ

ASEANは他言語の習得に高い関心を示しており、日本語を学習対象として最も魅力ある言語だと考えていた。

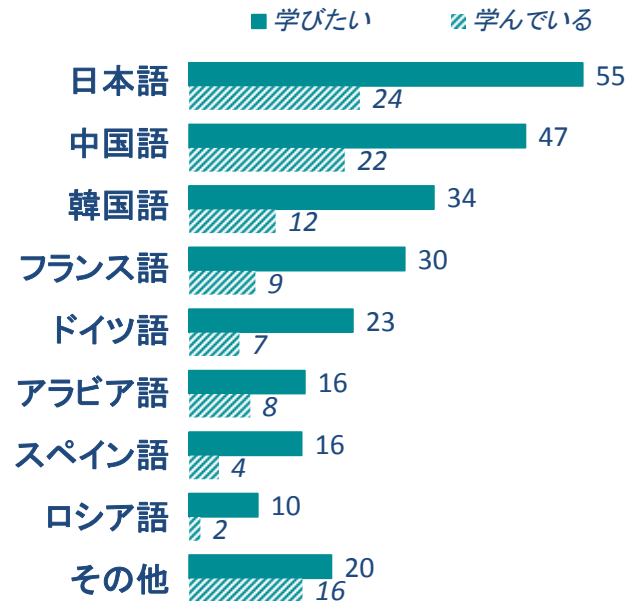
他言語学習への関心

調査対象: 全回答者 N = 3,055



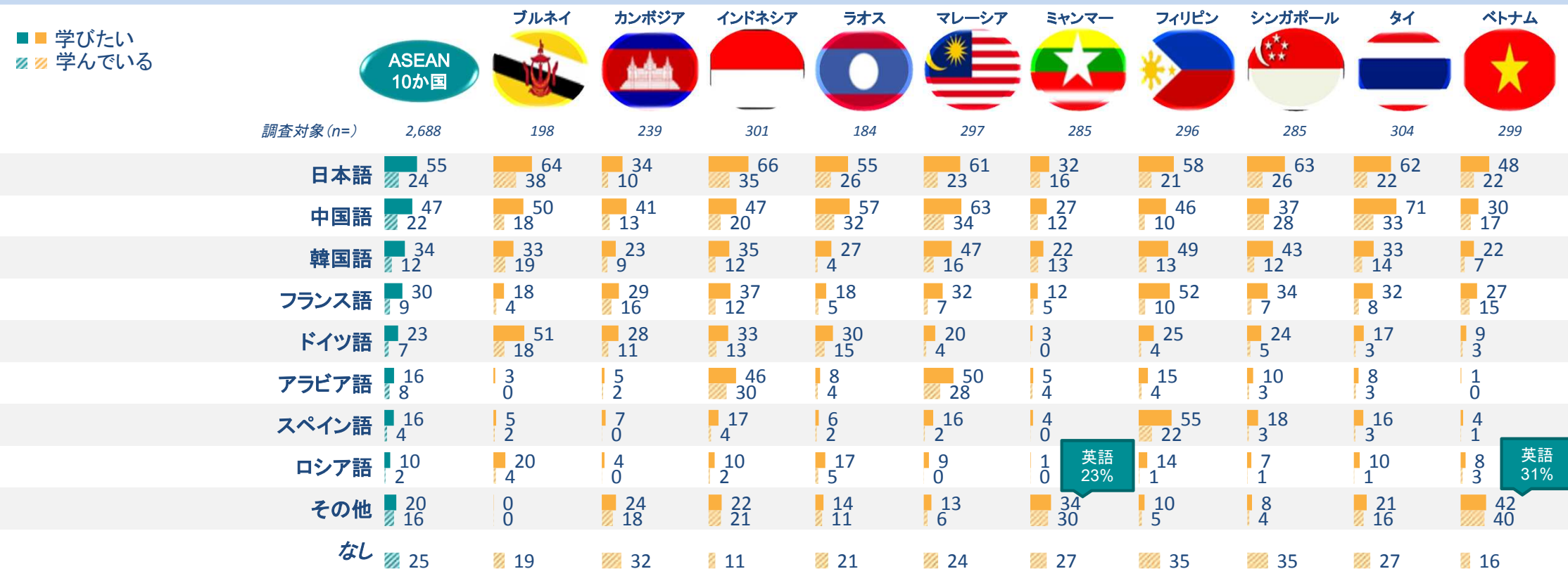
関心のある言語

調査対象: 他言語の学習に興味がある回答者 N = 2,688



日本語、その他の言語に対する習得の関心-国別データ

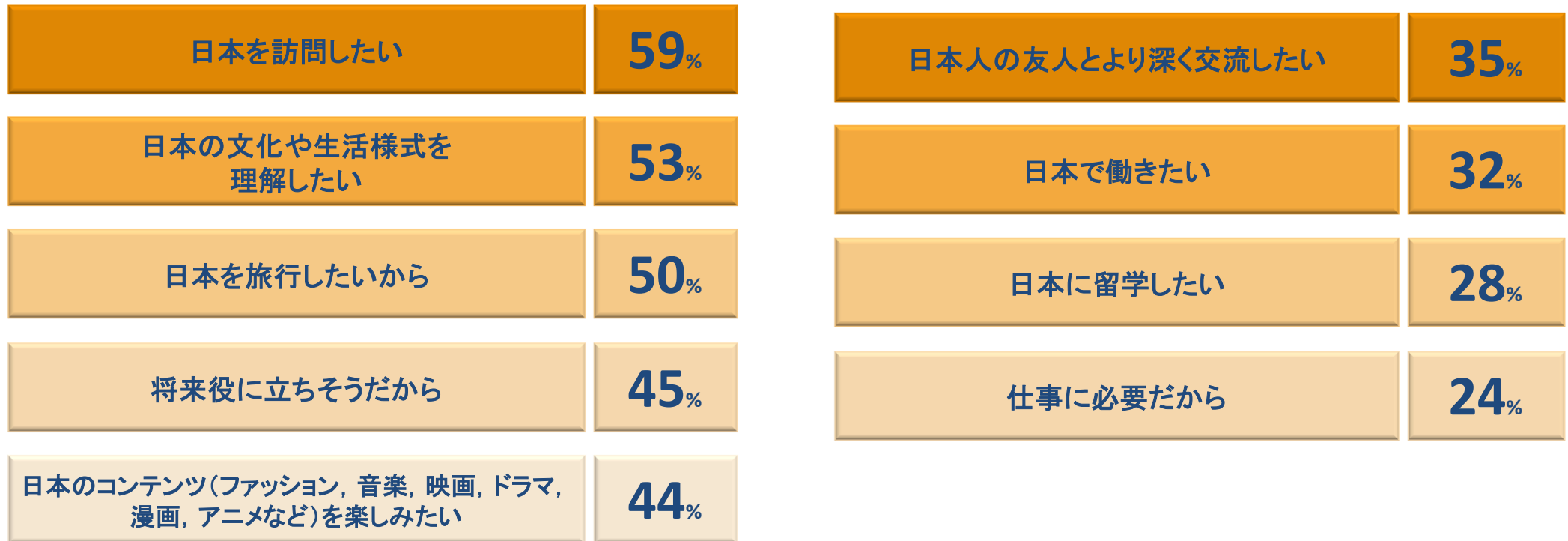
ASEAN全加盟国で最も人気があるのは日本語と中国語であった。



日本語を学ぶ理由

割合(%)データ

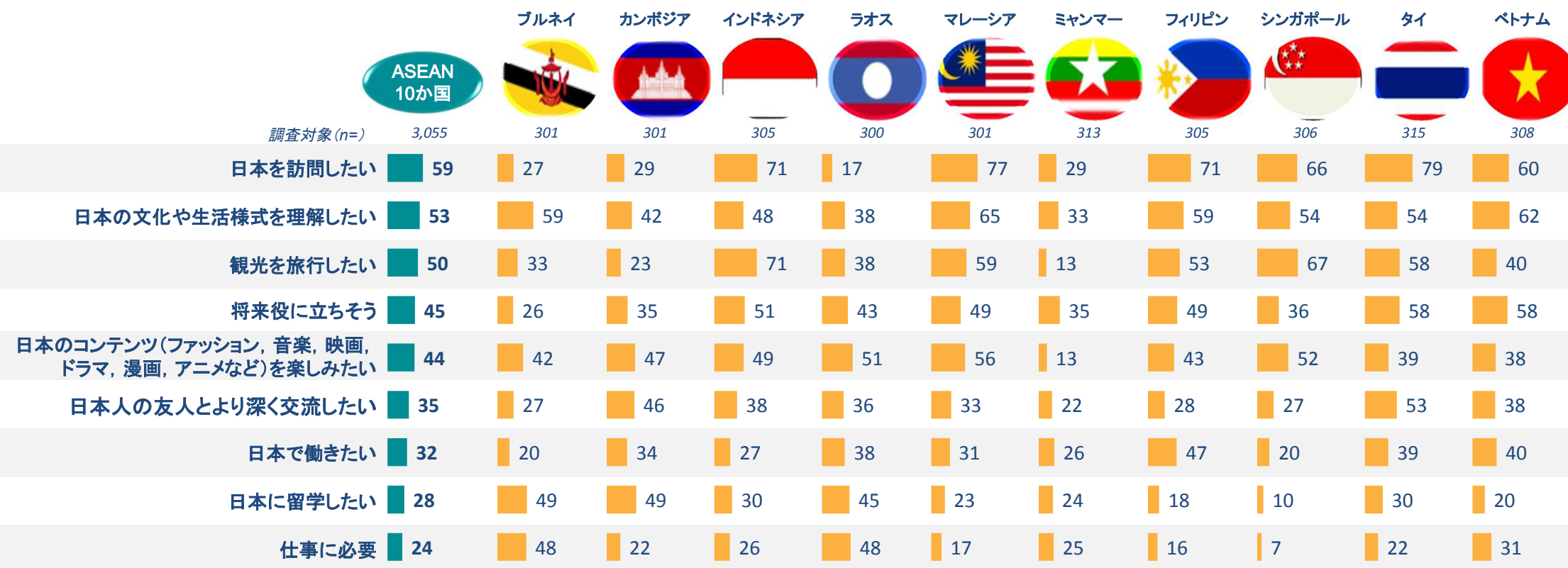
日本はASEANにとって魅力ある旅行先であり、日本語を学ぶ動機となっていた。また、日本の文化や生活様式を理解したいことも日本語を学ぶ理由として挙げられた。



日本語を学ぶ理由—国別データ

割合(%)データ

日本語は自分のビジネスやキャリア、教育に重要であるという認識もあった。この動機はブルネイ、カンボジア、ラオス、ミャンマーで共通してみられた。



3.日本の外交政策と 国際社会における役割に対する見方

国際社会における日本の役割

割合(%)データ

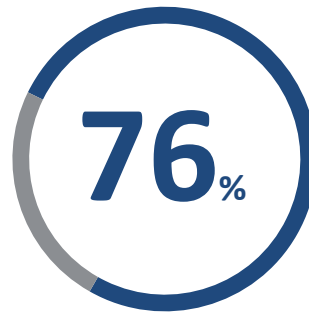
日本は様々な面で貢献していることが高く評価されていた。その中でも経済的貢献が最も強く認識されていた。



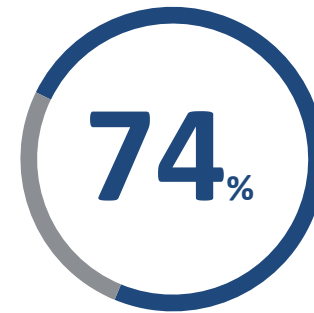
世界経済の安定と発展



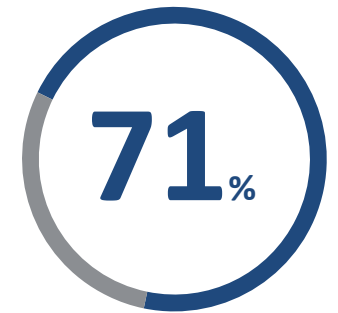
国際社会における開発協力
(ODA(政府開発援助)を含む)



地球規模の課題解決
(環境、気候変動、感染症、
人口、貧困等を含む)



国際秩序の安定
(法の支配、自由民主主義、
自由貿易体制等を含む)



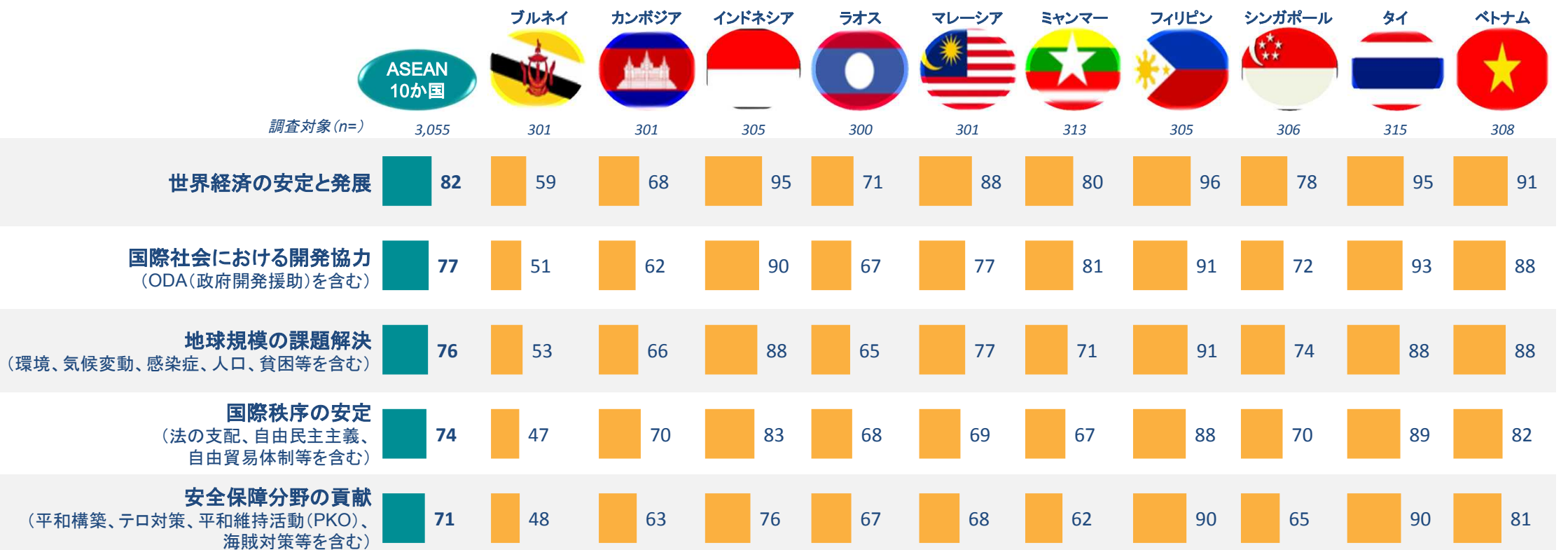
安全保障分野の貢献
(平和構築、テロ対策、
平和維持活動(PKO)、
海賊対策等を含む)

上位2項目合計%:

国際社会における日本の役割-国別データ

割合(%)データ

様々な分野における日本の役割について、ASEAN全加盟国で同様の見解が示された。



上位2項目合計%:

国際社会における日本の位置と役割

割合(%)データ

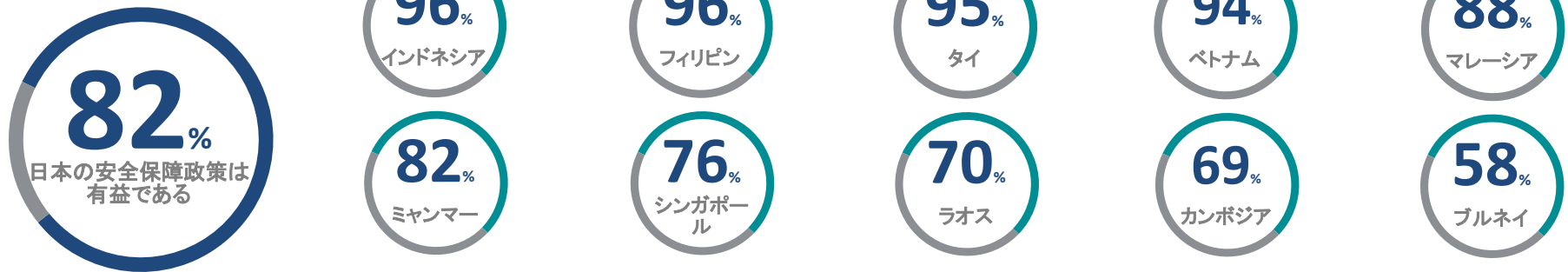
安全保障面では、日本は平和国家だと認識されていた。また、ASEANは、日本の安全保障政策が世界の平和と国際秩序の安定のために重要だと評価した。

第二次世界大戦終結以降、日本は平和を愛する国家であるという認識

上位2項目合計:
大変有益である; やや有益である



日本の安全保障政策の評価



平和国家としての日本-国別データ

割合(%)データ

インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム、マレーシアでは日本は平和国家として強く認識されていた。評価が最も低かったのはブルネイであるが、それでも回答者の3分の2が日本が平和国家であると評価した。また、ブルネイ、ラオス及びミャンマーでは認識を広げる余地がある。

日本の戦後70年間の平和国家としての歩みを評価するか

調査対象(n=)



国際秩序における日本の安全保障政策-国別データ

割合(%)データ

日本の「積極的平和主義」は、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム、マレーシアで高く評価されていた(82%)。一方、ブルネイではこの政策に対する肯定的見解が他国より比較的少ない傾向がみられた。

日本の安全保障政策「積極的平和主義」は世界の平和と国際秩序の維持に有益か





4. 日ASEAN関係と ASEANで期待される日本の役割

現在および将来における重要なパートナー (上位10か国):

割合(%)データ

日本、中国、アメリカがASEAN諸国にとって最も重要なパートナーとみられていた。

		現在	将来
	日本	52%	44%
	中国	50%	40%
	アメリカ	46%	39%
	韓国	26%	28%
	オーストラリア	24%	23%
	英国	23%	25%
	インド	18%	21%
	ドイツ	16%	21%
	インドネシア	16%	16%
	フランス	14%	18%



日本を現在のパートナーだと考えている

調査対象国	調査対象 (n=)	%
インドネシア	305	78
ベトナム	308	72
タイ	315	66
フィリピン	305	65
マレーシア	301	61
シンガポール	306	46
ミャンマー	313	42
ブルネイ	301	33
カンボジア	301	29
ラオス	300	27

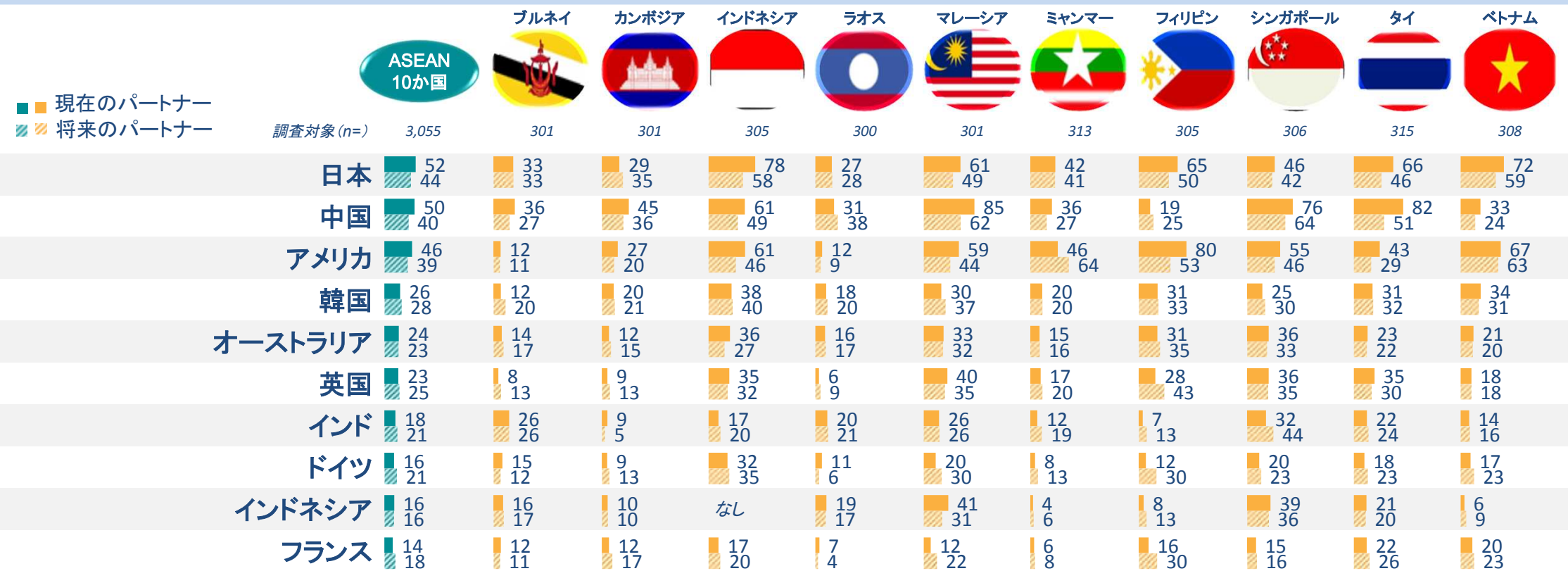
日本を将来のパートナーだと考えている

調査対象国	調査対象 (n=)	%
ベトナム	308	59
インドネシア	305	58
フィリピン	305	50
マレーシア	301	49
タイ	315	46
シンガポール	306	42
ミャンマー	313	41
カンボジア	301	35
ブルネイ	301	33
ラオス	300	28

重要なパートナー – 国別データ(1/2)

割合(%)データ

インドネシアとベトナムの国民にとって、日本は最も重要なパートナーであった。その他の国では、日本は2番目に重要なパートナーだとされた。シンガポール国民は、日本を3番目に重要なパートナーとして評価した。



重要なパートナー – 国別データ(2/2)

割合(%)データ

ラオス、ブルネイ、カンボジアでは、他の7か国に比べて、自国には重要なパートナーがないと考える人が多かった。当該3か国の世論を知るには、別のアプローチが必要である。



回答者の半数以上が、日本とASEAN諸国との経済連携協定について知っていた。最も認知度が低かったのはラオス(38%)であった。

日・ASEAN経済連携協定の認知度

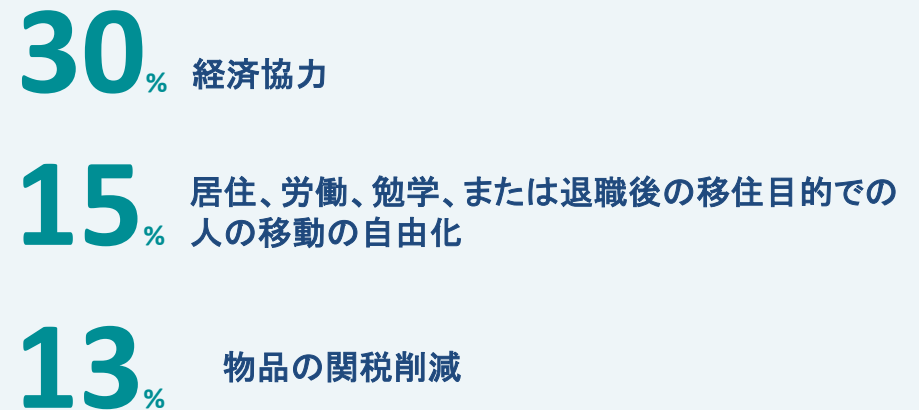
調査対象: 全回答者 N=3,055



調査対象 (n=)	日本とのFTA／ EPA協定を 知っている
ASEAN10か国	62
インドネシア	77
ベトナム	76
ミャンマー	74
フィリピン	68
マレーシア	63
シンガポール	60
タイ	60
ブルネイ	52
カンボジア	51
ラオス	38

日・ASEANのFTAとEPAで期待する成果

調査対象: 協定を知っている回答者 N=1,893



投資の規制	通関手続きの連携	サービスセクター の自由化	知的財産の規制	金融セクターの 自由化
10	7	7	7	6

日・ASEAN経済連携協定で期待される成果—国別データ

ほとんどのASEAN加盟国で、経済連携協定から最も望まれている成果は、経済協力であった。人の移動の自由化も大きく期待されており、特にラオス、ブルネイ、カンボジアで望まれていた。



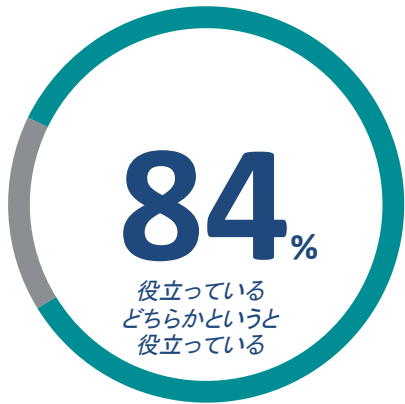
ASEANで期待される日本の役割

割合(%)データ

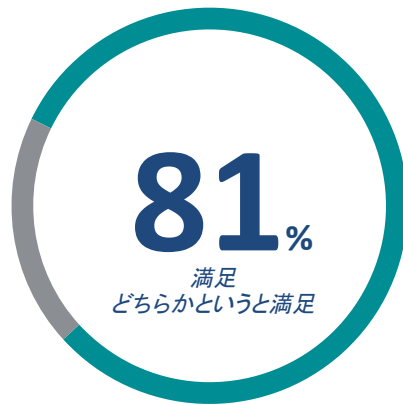
全般的に、ASEAN全加盟国で、日本の協力は肯定的に評価されていた。ASEANは、人材交流、安全保障分野における日本からASEAN地域への今後の更なる協力を期待している。

経済

■ 評価する



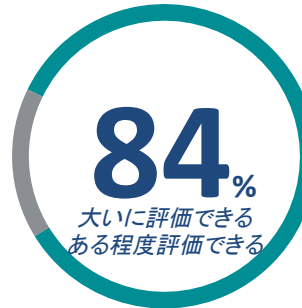
日本政府の開発協力(ODA
による経済・技術協力等)は
役立っている



日ASEAN統合基金(JAIF)
は満足できるものである

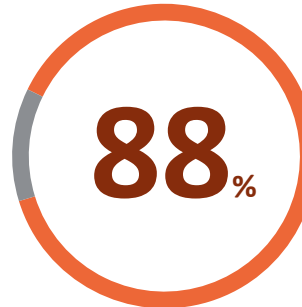
人的交流

■ 評価する



日本のJENESYS
(青少年交流プログラ
ム)は評価できる

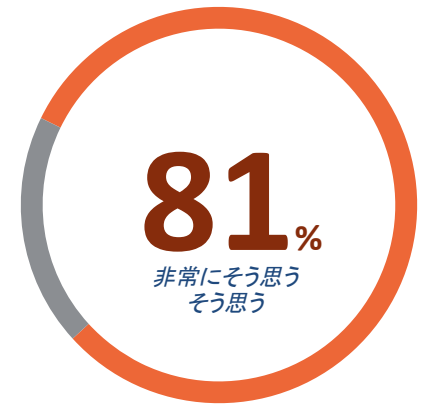
■ 期待する



日本は人的交流を推進/
維持すべきである

安全保障

■ 期待する



日本の自衛隊は東南アジア
でより積極的役割を果たすべ
きである

経済： 発展に対する協力(ODA等)

割合(%)データ

日本からの経済協力は高く評価されていた。ブルネイ、ラオス及びシンガポールではこの分野での認知度が低かった。

日本の経済協力(政府開発援助(ODA)等)は自国の発展に役立っているか





経済： JAIF（日・ASEAN統合基金）での協力

割合(%)データ

ASEANの10人に8人がJAIFによる支援に満足していた。しかし、ブルネイ国民の3分の1は日本の貢献に満足していなかった。ラオス、シンガポール、ミャンマーではこのプログラムに関する認知度が低かった。

JAIFは、2015年までのASEAN共同体設立と、今後の一層の地域統合を目指して設立された、日本の拠出金制度である

調査対象(n=) 上位2項目合計%
平均スコア



Ipsos Marketing

調査対象:全回答者一重み付け(n=3,055)

Q日・ASEAN統合基金(JAIF)を通じて行われた日本の支援(ASEAN共同体の構築、連結性強化や開発格差是正等の域内統合に対する支援)を思いますか？[単回答]

上位2項目合計=スコア値4および50



人的交流： JENESYSプログラム(21世紀東アジア青少年大交流計画)

割合(%)データ

JENESYSプログラムは肯定的にとられており、84%が日本を評価した。しかし、ブルネイでは39%の人々がこのプログラムを評価していなかった。ラオスでは、13%の人々がこのプログラムを知らなかった。

日本政府はJENESYSというプログラムを通して人的交流を促進し、このプログラムには20,000人を超える人々が参加している



Ipsos Marketing

調査対象: 全回答者一重み付け(n=3,055)

Q 日本政府はアジア大洋州地域との間で青少年交流を行うJENESYS等プログラムを通じて、ASEAN諸国との間でこれまで20,000名以上の青少年交流を実施していますが、このようなASEANに対する青少年交流を含む人的交流における取組についてどう思いますか？[単回答]

上位2項目合計= スコア値4および51

人的交流： JENESYSプログラムへの期待

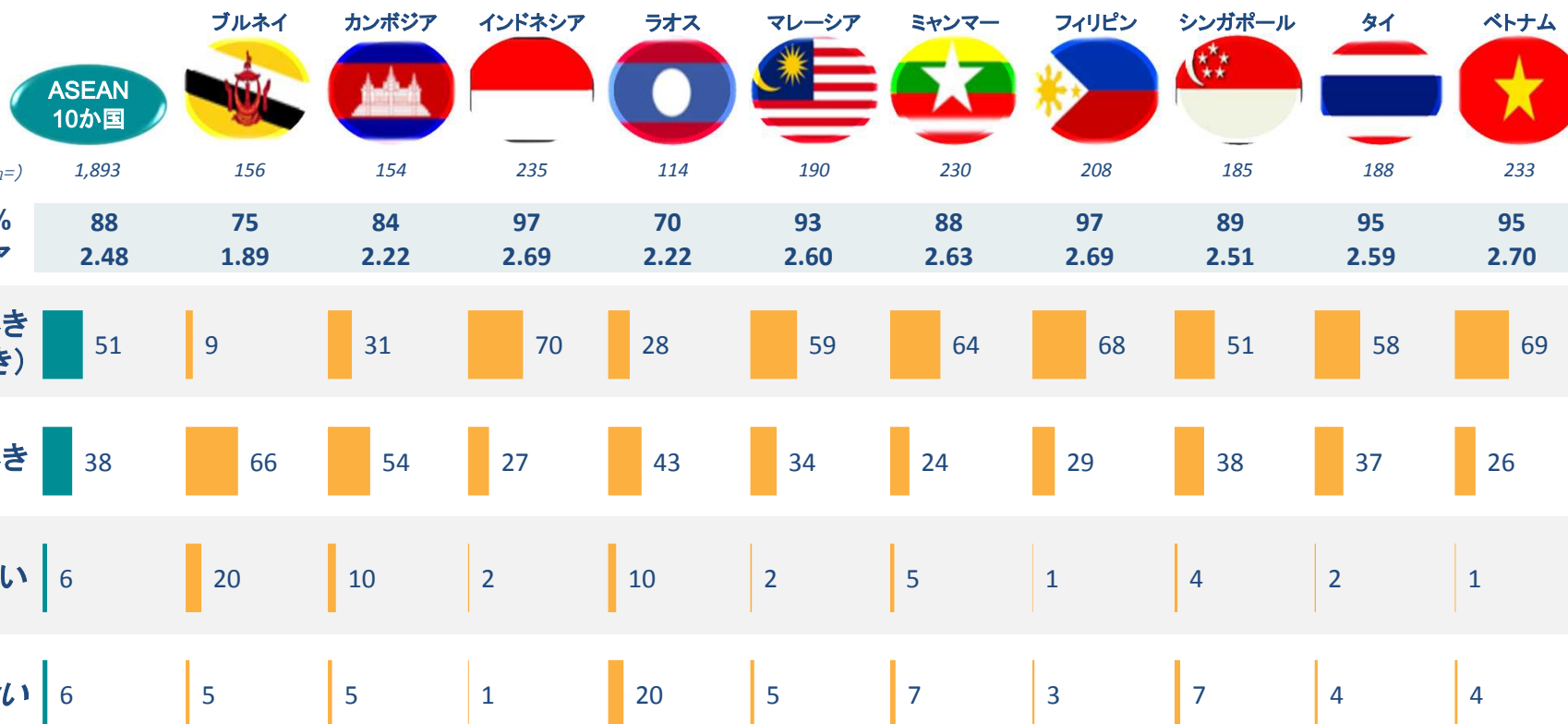
割合(%)データ

インドネシア、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシアでは日本がより人的交流プログラムを促進するべきであるという強い期待が示された。ラオスでは5分の1の人々が「わからない」と回答した。

日本政府はJENESYSの青少年交流プログラムのような人的交流をより促進すべきか

調査対象(n=)

上位2項目合計%
平均スコア



安全保障： 東南アジアにおいて日本の自衛隊に期待される役割

割合(%)データ

フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ベトナムでは、日本の自衛隊が東南アジアでより積極的な役割を果たすことに賛成する意見が多かった。

日本の自衛隊は東南アジアの
災害対策、安全、安定、繁栄
のために積極的役割を果たす
べきか

調査対象(n=)

上位2項目合計%
平均スコア



ASEAN統合に向けて日本の貢献が期待される分野

割合(%)データ

ASEAN統合に向け、経済面、技術面における日本との協力がASEAN地域で強く期待されていた。



経済・技術協力



教育、人材育成



貿易・民間投資
の振興



平和の維持



環境

文化交流

43

青少年交流

42

農業

37

対テロ対策

35

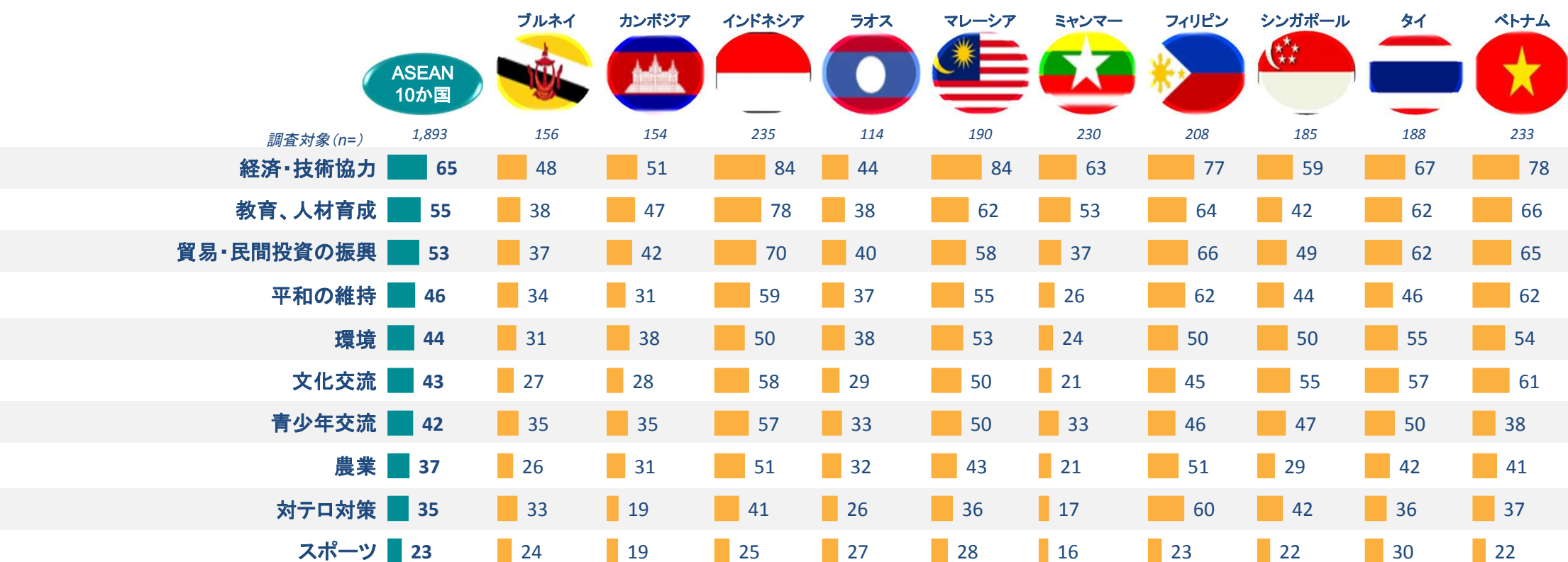
スポーツ

23



ASEAN統合に向けて日本の貢献が期待される分野-国別データ

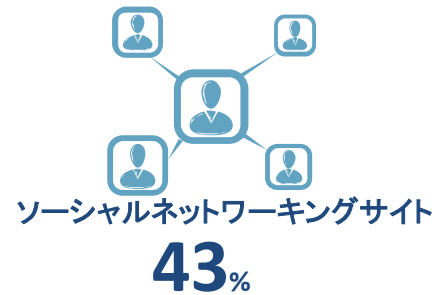
インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン、タイでは日本に対する期待が多くの分野でみられた。フィリピンでは特に反テロリズム活動に対する日本の貢献を期待していた。



5. 回答者属性に関する情報

日本に関する情報を得るためにメディアは大きな役割を果たしている。日本に関する知識を得るために、人々はより信頼できる情報源に頼っており、インターネット、テレビ、出版物をより多く活用していた。

日本に関する情報の情報源



一般知識の情報源

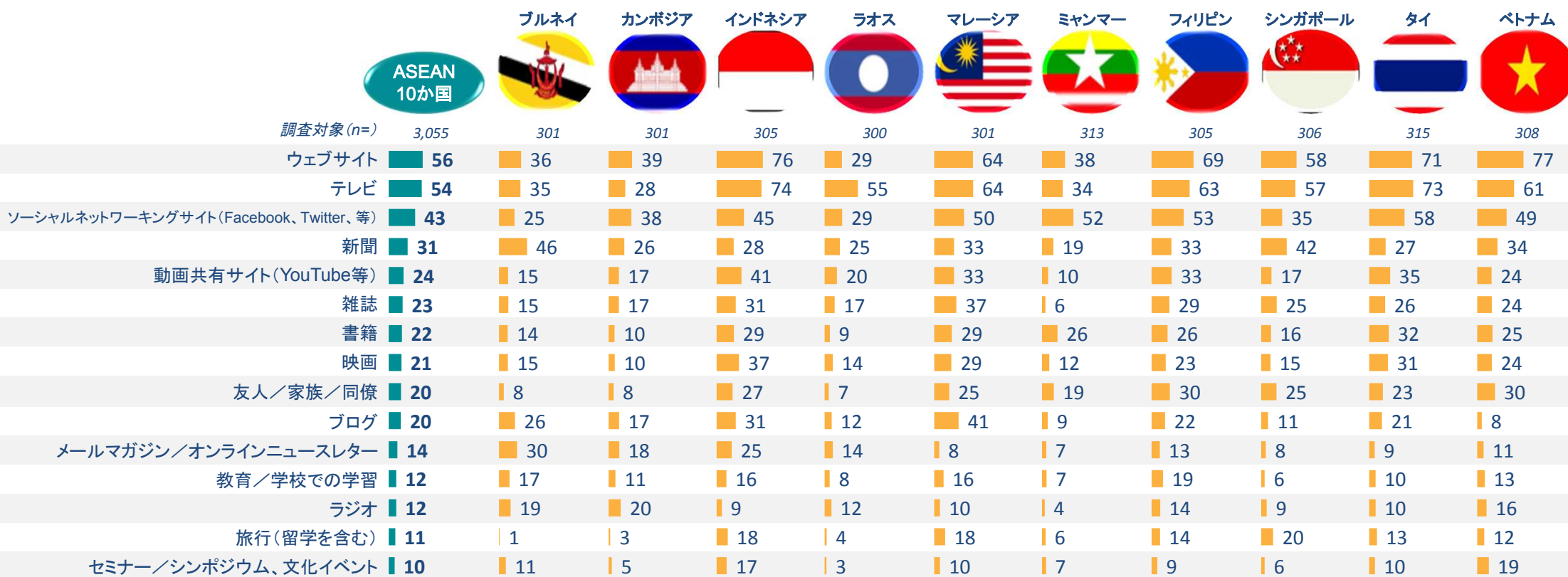


調査対象:全回答者一重み付け(n=3,055)
Q 普段、何を使って日本に関する情報を得ていますか？ [複数回答]

日本に関する情報の情報源-国別データ

割合(%)データ

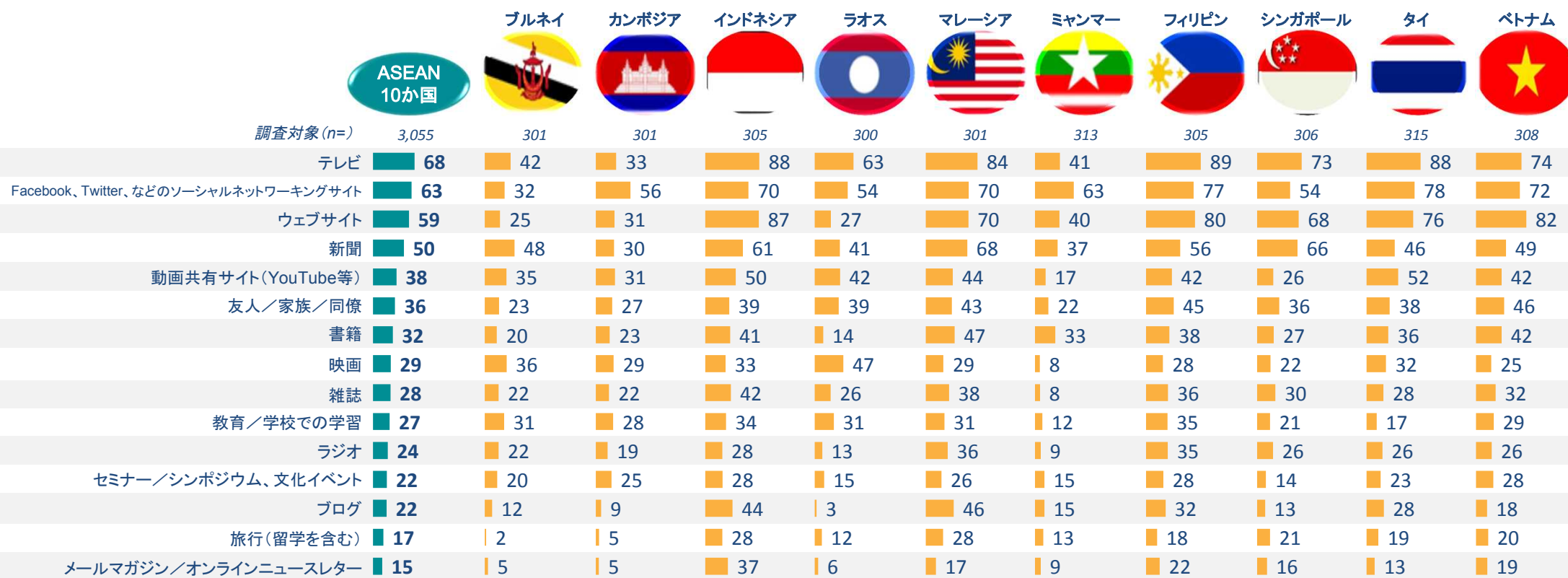
どの国でも、ソーシャルネットワーキングサイトおよび動画共有サイトを含むオンラインメディアと出版物が、日本に関する情報を得るための主な情報源となっていた。



一般知識の情報源-国別データ

割合(%)データ

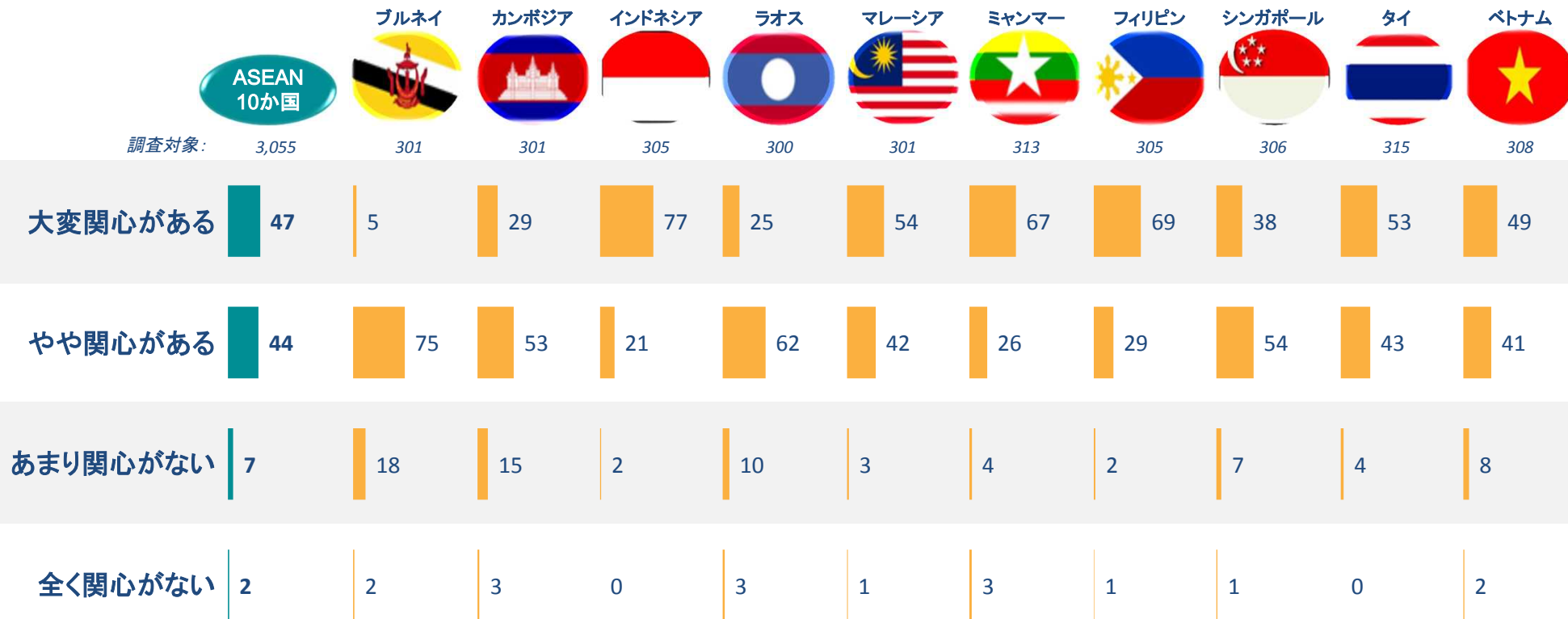
全般的に、どの国でも、主にテレビとソーシャルメディアウェブサイトの2つから一般知識を得ていた。



国際ニュースへの関心

割合(%)データ

ASEAN、特にインドネシア、フィリピン、ミャンマーの国民は、国際ニュースへの関心を示した。



ニュースをチェックする頻度

大多数の人々が、最低週に1度は国際ニュースをチェックするようにしていた。



回答者属性

割合(%)データ

性別



男性

50%



女性

50%

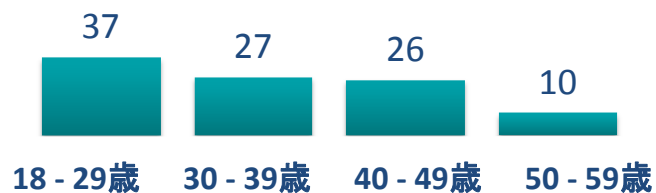
職業

55% 被雇用者／公務員

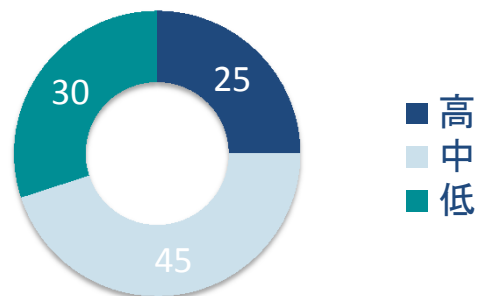
23% 会社経営者／自営業者／専門家

22% その他(主婦、学生、退職者、失業者)

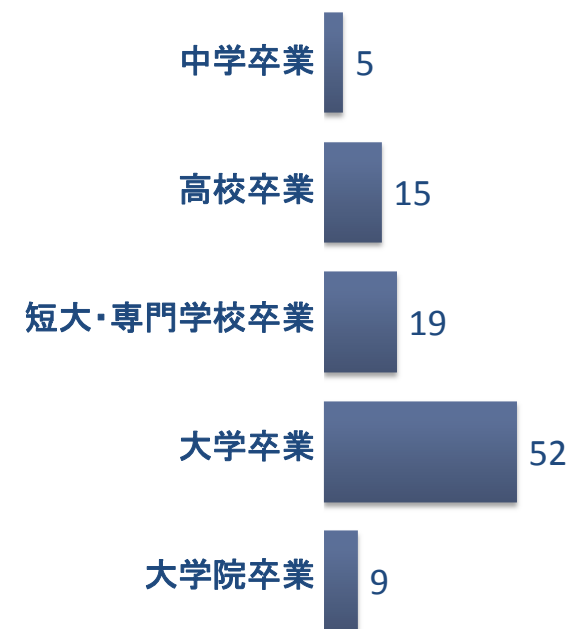
年齢



社会的経済背景



教育



回答者属性-国別データ(1/3)

割合(%)データ

	ASEAN 10か国	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
調査対象:	3,055	301	301	305	300	301	313	305	306	315	308
性別											
男性	50	51	49	52	50	49	48	49	52	50	50
女性	50	49	51	48	50	51	52	51	48	50	50
年齢											
18～29歳	37	35	45	33	44	42	37	40	28	29	37
30～39歳	27	29	24	30	25	27	27	26	26	28	28
40～49歳	26	35	28	25	28	20	31	20	26	26	20
50～59歳	10	1	3	11	3	11	6	15	19	17	15
教育											
中学卒業	5	10	11	0	4	2	9	0	8	2	3
高校卒業またはそれと同等レベル	15	22	22	15	20	17	11	4	12	12	17
短大・専門学校卒業	19	23	11	14	22	25	18	40	23	7	10
大学卒業	52	40	49	64	46	47	53	37	46	69	64
大学院卒業	9	5	7	6	7	8	10	19	11	9	5

調査対象:全回答者一重み付け(n=3,055)

回答者属性-国別データ(2/3)

割合(%)データ

	ASEAN 10か国	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
調査対象:	3,055	301	301	305	300	301	313	305	306	315	308
職業											
被雇用者／公務員	55	83	53	56	54	53	44	42	62	51	55
事務職(スタッフ、事務員、営業員、等)	18	17	16	24	16	18	16	15	12	22	23
管理職	16	22	9	21	16	12	16	10	27	14	14
役員／上級管理職／専門家	7	15	9	5	6	8	4	4	12	4	6
公務員(医療機関、学校、警察、等)	10	26	11	4	12	10	7	6	6	5	10
技能工／工場労働者／営業員、サービス員	4	3	7	1	2	6	1	7	5	5	2
会社経営者／専門家／自営業者	23	11	28	28	21	25	27	20	22	23	25
会社経営者(従業員10人以上)	4	0	14	6	5	0	2	3	3	6	2
会社経営者(従業員10人未満)	5	1	1	11	4	6	3	4	4	11	5
専門家(医師、弁護士、等)	11	1	8	9	9	16	17	13	14	4	16
技能工(建設工、配管工、等)	3	8	5	2	3	2	5	0	1	2	2
その他	22	5	19	17	25	22	28	38	16	26	20
学生	8	4	12	4	10	8	6	8	7	8	10
専業主婦、専業家事従事者	5	1	1	4	10	5	6	10	4	4	3
失業者	5	0	2	4	3	6	4	15	2	5	5
その他	5	0	4	4	3	3	13	6	3	9	2
民族											
マレー系		45				68			10		
華人系	なし	35	なし	なし	なし	26	なし	なし	81	なし	なし
インド系		なし				6			9		
先住民族系		20				なし			なし		

調査対象:全回答者一重み付け(n=3,055)

回答者属性-国別データ(3／3)

 世帯収入	n= 301	 世帯収入	n= 301	 世帯支出	n= 305	 世帯収入	n= 300	 世帯収入	n= 301
BND 2,000未満	0	USD 100未満	6	IDR 750,000未満	3	LAK 500,000未満	2	MYR 1,500未満	8
BND 2,000 - 3,999	0	USD 100 - 200	13	IDR 750,000 - 1,250,000	4	LAK 500,000 - 1,500,000	7	MYR 1,500 - 3,000	23
BND 4,000 - 5,999	45	USD 201 - 350	51	IDR 1,250,001 - 2,500,000	26	LAK 1,500,001 - 2,500,000	47	MYR 3,001 - 5,000	34
BND 6,000 - 9,999	46	USD 351 - 500	21	IDR 2,500,001 - 5,000,000	33	LAK 2,500,001 - 3,500,000	35	MYR 5,001 - 8,000	21
BND 10,000 - 15,500	10	USD 500超	8	IDR 5,000,001 - 7,000,000	17	LAK 3,500,001 - 8,000,000	4	MYR 8,000超	15
BND 15,500超	0			IDR 7,000,000超	17	LAK 8,000,000超	5		

 世帯収入	n= 313	 世帯収入	n= 305	 世帯収入	n= 306	 世帯収入	n= 315	 世帯収入	n= 308
USD 150未満	24	PHP 8,000未満	33	SGD 3,000未満	12	THB 15,000未満	10	VND 4,000,000未満	11
USD 150 - 300	38	PHP 8,000 - 15,000	13	SGD 3,001 - 5,999	23	THB 15,000 - 24,999	23	VND 4,000,000 - 7,500,000	23
USD 301 - 500	18	PHP 15,001 - 30,000	20	SGD 6,000 - 7,999	16	THB 25,000 - 49,999	33	VND 7,500,001 - 12,000,000	33
USD 501 - 800	9	PHP 30,001 - 50,000	17	SGD 8,000 - 11,999	20	THB 50,000 - 60,000	14	VND 12,000,001 - 23,000,000	19
USD 800超	11	PHP 50,001 - 100,000	11	SGD 12,000 - 17,500	21	THB 60,000超	20	VND 23,500,000超	15
		PHP 100,000超	6	SGD 17,500超	8				



 Graha Arda, 3rd Floor,
Jl. H.R. Rasuna Said Kav. B-6
Kuningan, Jakarta Selatan
12190, Indonesia

 +62 21 52 777 01



お問い合わせ先

 info@ipsos.co.id
www.ipsos.com
www.ipsos.co.id